

にぎわい創出部会 平成26年度活動状況及び27年度の方向性等

第1回会議			
開催日時	平成26年6月30日(金) 午後1時30分～		
開催場所	高松市役所 12階121会議室	出席者数	10人
議 題	(1) 平成26年度第1回魅力ある屋島再生協議会の協議内容について (2) 平成25年度の取組結果について (3) 平成26年度に実施する重点取組事業の選定について (4) その他		
第2回会議			
開催日時	平成26年10月1日(水) 午後1時30分～		
開催場所	高松市役所 11階114会議室	出席者数	7人
議題	(1) 平成26年度重点取組事業の取組状況について (2) 平成27年度事業の方向性について (3) その他		
重点取組施策・事業			
No. 15	観光ルートの開発・商品化・宣伝		
No. 26	屋島交流イベントの開催		
活動内容等			
<p>○重点取組事業について、各委員が所属する団体の活動を調査し、情報共有した。 (調査結果については、別添資料を参照。)</p> <p>○重点取組事業について、意見交換した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 重点取組事業の2事業を効果的に実施することで、本部会が所管する全ての事業に良い影響が波及する。 より良い商品を作るためには、事業を改善しながら、繰り返し実施していくことが必要。 屋島単体で集客するのは困難なので、屋島と何かを組み合わせる考え、ストーリー性を高めることが必要。 (屋島プラスワン や 屋島プラスアルファで考える。) <p>○屋島プラスワンの意見</p> <ul style="list-style-type: none"> 栗林公園や金毘羅などの「周辺観光地」や、牟礼の牡蠣などの「食」との組み合わせで考える必要がある。 ターゲットに合わせて考える必要もある。ジョージナカシマのような「アート」なのか、庵治石のような「産業」や「工芸品」なのか。それを屋島周辺のものとどう組み合わせるのか。 ありきたりなものではなく、「ニッチなもの」とかを磨き上げていくことも必要。 「広域的」に考える必要もある。例えば、「源平」というキーワードで、兵庫県から山口県までを巻き込むなど。 			

27年度に向けての方向性・意見等

○方向性について

- ・引き続き、今年度の重点取組事業の2事業を重点的に取り組んでいく。

○意見等

- ・地元住民から愛されていることが県外に伝わることで、誘客に繋がるので、県内へのアピールも重要で、県民を挙げての取組みとなることが大切である。
- ・関係者で調整をしながら、切れ目なくイベントを実施してはどうか。
- ・なぜ血の池は黒いままなのか、なぜカワラケ投げの目標となる木が見えないのか、事業にあたっては、もう少し現場を見て、考えて欲しい。
- ・本部会は、情報共有や関係構築の場として、今後も活用していきたい。
(屋島地域における観光プラットフォームとして活用。)